

沖縄県環金武湾地域雇用創造計画の概要

1 対象区域（沖縄公共職業安定所管轄内：1市1町1村の3市町村）

- ・うるま市、金武町、宜野座村

2 本地域（沖縄公共職業安定所管轄内）の労働力の需給状況等

次のとおり最近3年間及び最近1年間の有効求人倍率の平均が全国平均以下であることから、地域雇用開発促進法に基づく自発雇用創造地域に該当する。

①最近3年間における一般及び常用有効求人倍率の月平均値

一般有効求人倍率：0.30倍（全国：1.02倍、県全域：0.43倍）

常用有効求人倍率：0.28倍（全国：0.97倍、県全域：0.39倍）

②最近1年間における一般及び常用有効求人倍率の月平均値

一般有効求人倍率：0.33倍（全国：1.02倍、県全域：0.42倍）

常用有効求人倍率：0.30倍（全国：0.97倍、県全域：0.38倍）

（参考）

③失業率（H17国勢調査）

失業率：14.1%（うるま市14.6%、金武町12.1%、宜野座村7.2%）

県平均：11.9%

3 地域内の労働力の需給状況等の課題や雇用動向を踏まえた雇用開発計画の方向性

（課題）

- ・求人数は増加しているものの、労働力人口や求職者数が増加しているため、失業率が改善せず、また、有効求人倍率は県内でも低い水準で推移している。
- ・沖縄県は若年者の人口割合が高く、地域経済の発展にとって大きなアドバンテージを持っている。しかし、当地域内の金武町、宜野座村は高齢者の人口割合が県平均より高く、現在の厳しい雇用情勢が続くと、働く場を求めて若者の流出が更に進み、地域の衰退が加速する恐れがある。
- ・米軍基地が集中するが故に、土地利用が大きく制限され、米軍基地を中心とした「基地経済」を強いられ、世界情勢や米軍人の事件などによって経済が大きく左右される。

（方向性）

- ・このような経済構造からの脱却を図るため、情報通信関連産業を中心とした企業誘致や、健康・長寿・美容といった地域資源を活かした産業の育成に努めるとともに、中心市街地の再開発や基地の返還跡地を活用した街づくりを行い地域の活性化に積極的に取り組んでおり、この動きを後押しすることにより、本地域の産業振興と雇用状況の改善を図る。
- ・地域雇用開発にあたっての重点分野
 - ①情報通信関連産業 ②観光・リゾート関連産業 ③製造関連産業
 - ④地域特性を活かした産業（健康・長寿・美による地域振興）

4 地域雇用開発のための目標

(1) 地域雇用創造推進事業の実施に伴う雇用創出（取組は6-(1)参照）

①アウトプット指標（事業利用件数）

ア 雇用拡大メニュー：80社

イ 人材育成メニュー：1,215人

ウ 就職促進メニュー：1,889人

②アウトカム指標（雇用創出数）

雇用創出数 1,183人

（平成20年度 315人、平成21年度434人、平成22年度434人）

(2) 地域雇用創造推進事業以外の雇用創出事業に伴う雇用創出（取組は6-(2)参照）

雇用創出数 530人以上

5 地域雇用創造協議会

(1) 協議会名称：沖縄県環金武湾地域雇用創造協議会

(2) 構 成 員：11団体

①沖縄県 ②うるま市 ③金武町 ④宜野座村

⑤（財）雇用開発推進機構

⑥特定非営利活動法人 フロム沖縄推進機構

⑦（財）沖縄観光コンベンションビューロー

⑧うるま市商工会

⑨金武町商工会

⑩宜野座村商工会 ⑪宜野座村観光協会

6 雇用の創造に資するための方策

(1) 地域雇用創造推進事業

①雇用拡大メニュー

ア 地域雇用拡大事業

②人材育成メニュー

ア 健康・長寿・美容産業を担う人材育成事業・・・観光・リゾート関連産業
地域の特性を活かした産業

イ 情報通信産業担う人材育成事業・・・情報通信関連産業

ウ 製造業を担う人材育成事業・・・製造関連産業

(2) 県及び市町の主な取組

①情報通信関連産業

・沖縄県情報産業ハイウェイ及びGIXの構築など情報通信基盤の整備を図るとともに、沖縄振興特別措置法に基づく情報通信産業振興地域に適用される税制優遇措置制度等を活用した産業の集積・振興を図り、雇用の創出に向けた施策を推進する。

②観光・リゾート関連産業

- ・多様なニーズに対応した通年・滞在型の質の高い観光・リゾート地の形成を図るとともに、地域の主体的な「観光街づくり」を推進し、誘客を延ばすことによる雇用の創出に向けた施策を進めていく。

◆うるま市：海中道路、海の駅あやはし

◆金武町：体験型観光施設「ネイチャーみらい館」

◆宜野座村：かんなタラソ沖縄

③製造関連産業

- ・沖縄県・内閣府沖縄総合事務局・OKINAWA型産業振興プロジェクト推進ネットワークは金型産業振興によるモノづくり活性化への取り組みを進めている。

本県が技術者の育成に取り組むことにより、日本の技術力の高い金型企業の受け皿となり、我が国の優れたモノづくり文化を継承・発展させることで、新たな可能性を創造する。

④地域の特性を活かした産業

- ・当環金武湾地域では、平成14年度に健康・長寿・美をキーワードとした「環金武湾振興QOLプロジェクト」を策定し、Quality of Life（生活の質）の向上による充実した健康長寿社会の実現を目指している。

地域の特性を活かした癒しのプログラム、高齢者向けの健康運動を指導するプログラムを作成し、人材等を育成することで、健康・長寿・美容サービス産業の振興に繋がり新たな雇用拡大を図る。

◆うるま市：(財)おきなわ健康長寿研究開発センター、未病ケアセンター

◆金武町：総合保健福祉センター

◆宜野座村：かんなタラソ沖縄

7 計画期間

厚生労働大臣の同意を得た日から～平成24年3月31日